

2026 年度鑄造カレッジ（鑄造中核人材育成）

銅合金コース 募集要項

主催：一般社団法人日本鑄造協会 連携：公益社団法人日本鑄造工学会

目的

将来の工場長や経営幹部となる人材の育成を目的としています。
(鑄造技術を理論的に理解し、かつ工場管理が出来る人材の育成)

受講資格 (重要)

当講座は基礎講座ではありません。一定レベルの鑄造技術知識を保有される方を対象としております。次の経験、知識(またはそれと同等の知識)のない方は受講できません。

(1) 実務経験：「鑄造関係業務 5年以上」

但し大学の工学部・理工学部・理学部、又は高等専門学校の機械・材料系を卒業、又は大学院で鑄造を研究、以上の対象者は経験年数3年以上を可とする。

(2) 技術知識 (以下の①の研修の受講、又は②の資格の保有)

①当協会の「鑄造入門講座」、日本鑄造工学会の「技術講習会」、素形材センターの「鑄造技術研修講座」等の2日以上(講義、実習10時間以上)のシリーズ的鑄造関係の技術講座、又は、各機関・団体の開催している以下の12講座のいずれかを受講していること。

②鑄造関係の国家技能検定資格(2級、1級、特級)

講座名	主催機関・団体	日数・時間
埼玉県中小企業技術者研修 (短期研修：金属課程)	(社) 埼玉県川口中小企業技術者研修センター	座学 2H×10 日間
鑄造技術研修会	静岡県鋳鉄鑄物工業組合	座学 4H×11 日間
三重県鑄造技術者育成研修	三重県工業研究所金属研究室	座学 29H (8 日間) 実習 26H (5 日間)
鑄造技術者初級研修	島根県鑄造関連産業振興協議会	座学 17H (4 日間)
鑄造初級講座	日本鑄造工学会北陸支部	座学 10H (2 日間) + 工場見学
「アルミの鑄物講座」(1 日) 「アルミ合金ダイカスト実践講座」(1 日) ※2 講座両方の受講が必要	日本鑄造工学会東海支部	座学 7H (1 日間) 座学 7H (1 日間) 合計 14H (2 日間)
夏期鑄造講座	日本鑄造工学会東北支部	座学 12.5H 実習 4H (3 日間)
鑄鉄の基礎講座(1 日) 鑄鉄の中級講座(1 日) ※2 講座両方の受講が必要	日本鑄造工学会東海支部	座学 5.8H (1 日間) 座学 5.2H (1 日間) 合計 11H (2 日間)
鑄造初級講座	全九州鋳鉄鑄物工業組合	座学 10H (6 日間) (平成 27 年度開催)
鑄造基礎講座	日本鑄造協会中国四国支部 (連携) 日本鑄造工学会中国四国支部	座学 30H (6 日間)
鑄物初級講座	全九州鋳鉄鑄物工業組合 日本鑄造工学会九州支部	座学 47H (8 日間)
鑄物初級講座	日本鑄造工学会北海道支部	座学 12H (2 日間) 2017 年版 座学 10H (1 日間) 2020 年版

※鑄造工学会の春・秋の講演大会、技術講演会、協会の春秋大会、技術講演会、素形材センターの1日のセミナー、社内教育、コンサルタントの教育等は受講経歴となりません。

★本カレッジでは各講義後、レポートの作成、提出が必須となっており、ある程度のレポート作成能力、パソコンの知識が必要となります。また事務局よりの諸連絡、レポートの提出等にメールも多用しますので、ご注意ください。

申 込	2026 年 4 月 1 日 (月) ～ 5 月 8 日 (金) 先着順。 「2024 年度鑄造カレッジ受講申込書」に全項目、漏れなく記入のうえ、メールに添付し、お送りください。なお、申込書を PDF 化しないでください。 *郵送、FAX でのお申し込みは受付致しません。 *事務局がメールを受付受信しましたら、開封確認メールをお送りします。 資格審査後、受講者には受講通知を 5 月下旬ごろお知らせします。請求書は後日お送りします。なお、定員を超えた場合は、1 社 1 名に制限させて頂く場合があります。		
定 員	10 名 (全国)	受講料	(一社) 日本鑄造協会 会員 385,000 円 (本体: 350,000 円・消費税 10%: 35,000 円) (公社) 日本鑄造工学会 会員 451,000 円 (本体: 410,000 円・消費税 10%: 41,000 円) 非会員 660,000 円 (本体: 600,000 円・消費税 10%: 60,000 円) *講座中の交通費、宿泊費、昼食費等は含みません。
概 要	★希望する受講地区 (2026 年度は関東・関西地区) にお申し込みください。専門科目講義、インターンシップ以外の共通の科目 (共通 9 科目、管理 5 科目、地区別 4 科目の計 18 コマ) 及び工場見学は各地区で、鑄鉄コースと同時の参加となります。また開講式も各地区でのご参加となります。 認 定 式 2027 年 5 月 (予定) ※一部の科目は Zoom による Web 講義となります。詳細はカリキュラムと講義内容をご覧ください。 ★【東海地区・中国四国地区での参加をご希望の方へ】 2026 年度に専門科目講義・インターンシップ、そのほかの科目を 2027 年度に受講し、2 カ年度で鑄造技士を認定することも可能です。ご希望の方は事務局までお問合せください。 ★以下は、銅合金コース単独で実施します。 詳細はカリキュラムをご覧ください。 - 銅合金コース専門講義 12 コマ 開催日程: 2026 年 9 月 2 日 (水) ～ 4 日 (金)・11 日 (金) 開催場所: 機械振興会館 (東京都港区芝公園 3-5-8) および Web 講座 - インターンシップ: 2027 年 3 月 1 日 (月) ～ 5 日 (金) 開催場所: (国研)産業技術総合研究所 つくば東(茨城県つくば市並木 1-2-1)		
称号授与	所定の出席数、一定の成績を満たした方には、当協会認定「鑄造技士 (Foundry Expert)」の認定証を授与します。		
特 典	授与された称号「鑄造技士 (Foundry Expert)」は名刺等の印刷物に使用できます。 「鑄造技士」に認定された方は、当協会機関誌「鑄造ジャーナル」、日本鑄造工学会機関誌「鑄造工学」にお名前と写真を掲載します。 「鑄造技士」に認定されると、日本鑄造工学会の正会員となり、技術講演会、技術交流会などの学会諸活動の参加と情報収集が可能になります。(正会員会費は、最初の 3 年間は日本鑄造協会が支出します。)		
お問合せ	一般社団法人日本鑄造協会 鑄造カレッジ 事務局 〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目 5 番 8 号 機械振興会館 5 階 501 号室 TEL : 03-3432-2991 FAX : 03-3433-7498 E-mail : college@foundry.jp		

★定員に達しない場合には開催を延期することがあります。

★Web 講義方法 (Zoom) につきましては希望者に事前確認を実施します。

（重要） お申込みおける注意事項

- ・ 講義の一部が Zoom による Web 講義となります。受講の際には、カメラ付きパソコンや Wi-Fi 等の受信環境が必要となります。なお、受講が決定しましたら、希望者には開講までにカレッジ事務局と受講者の皆様とで操作方法などの事前確認を実施しますので、ご安心ください。
- ・ 社会情勢によっては、対面形式の講義を ZOOM による WEB 講義に切替える事があります。また、インターンシップや工場見学等、一部の日程を変更することがあります。
- ・ 冒頭に記載しました通り、この講座は基礎講座ではなく、レポート提出ならびに一定レベル以上のレポート提出が必須となります。**提出していただいたレポートが一定のレベルに達しない状況の場合、派遣企業または推薦者の方にレポート作成のフォローしていただくことがございます。また、状況によって鑄造技士認定に至らないこともございますので、ご了承ください。**

今後の鑄造カレッジ開催予定

- ・ 2027年度：関東地区、東海地区、中国四国地区・鑄鉄コース、軽合金コース
 - ・ 2028年度：関東地区、関西地区、（東海地区）・鑄鉄コース、鑄鋼コース
- ※今後の鑄造カレッジ参加計画のご参考にしてください。

各種助成金についてのご案内

今年度、鑄造カレッジ・鑄造カレッジ上級コースにて利用できる助成金は以下の通りです。

《 人材開発支援助成金（旧キャリア形成促進助成金） 》

平成 29 年 4 月 1 日からキャリア形成促進助成金は人材開発支援助成金と名前が変更となりました。同助成金のうち、鑄造カレッジおよび上級コースに関係するものとしては、「特定訓練コース」と「一般訓練コース」となります。対象企業、対象者の条件等により申請できるコース、助成率、助成額が異なります。詳細は下記よりご確認の上、ご検討下さい。

厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

※くわしくは、各都道府県労働局や最寄りのハローワーク窓口にてお問い合わせください

関東地区 銅合金コース 全体日程及び講義カリキュラム

★開催期間：2026年6月5日(金)～2027年3月5日(金)の17日間(講義10日、インターンシップ5日、工場見学2日)

講義受講日程：2026年6月5日(金)～11月13日(金)の10日間

開催場所：東京機械振興会館、川口鑄物工業協同組合および Web 講義、インターンシップは産業技術研究所

*黄色の網掛けは銅合金コースの講義です。銅合金コースの方は受講しません。その他の講義は共通です。★は Web 講義日。

コマNo.	日 程	時 間	区 分	科 目 ・ 内 容	講師候補
	6 月 5 日 (金)	9:10～9:50		開講式 ・オリエンテーション	
1		10:00～12:00	共通 1	鑄造概論	佐藤万企夫(元 日本鑄造工学会)
2		12:50～14:50	共通 2	状態図の基礎	山浦秀樹(株)プロテリアル)
3		15:00～17:00	管理1	生産管理	木村寿利 (株)木村鑄造所)
7	7 月 3 日 (金) ★	9:45～11:45	共通 3	鉄系鑄物概論(鑄鉄・鑄鋼)	鈴木克美(ものづくり大学名誉教授)
8		12:35～14:35	共通 5	生型の鑄型用材料と造型法	佐藤和則(日本鑄造工学会)
9		14:45～16:45	共通 9	コンピュータシミュレーション概論	木下慎一(クオリカ株)
13	8 月 5 日 (水) ★	9:45～11:45	共通 7	模型製作	宇波岳雄(株)田口型範)
14		12:35～14:35	共通 6	生型以外の鑄型用材料と造型法	橋本邦弘(橋本技術士事務所豊橋)
15		14:45～16:45	共通 8	鑄造品の品質保証と非破壊検査	桑原 勝(株)クボタ教育センター)
専1	9 月 2 日 (水)	10:00～12:00	専門 3	銅合金の鑄造方案と湯流れ・凝固シミュレーション	岡根利光 (ものづくり大学教授)
専2		12:50～14:50	専門 1	銅合金鑄物における鑄造技術の変遷並びに材質と特性、用途	大瀧光弘(元古河電工株)
専3		15:00～17:00	専門 2	銅合金の状態図と凝固様式	大瀧光弘(元古河電工株)
専4	9 月 3 日 (木)	10:00～12:00	専門 9	銅合金鑄物の品質管理と不良対策	丸 直樹(丸三工業株)
専5		12:50～14:50	専門 6	鉛フリー・青銅鑄物における溶解、鑄造とその特性(Si 系・Bi 系・Bi・Se 系・Bi・Ni 系硫化物系)	丸山 徹(関西大学教授)
専6		15:00～17:00	専門7	量産銅合金鑄物(バルブ・軸受など)を中心とした製造プロセス	青山 憲(株)加藤製作所)
専7	9 月 4 日 (金)	10:00～12:00	専門 4	銅合金の溶解と溶湯管理(具体的溶解方法)	無量小路俊宏(睦合金工業株)
専8		12:50～14:50	専門 8	銅合金鑄物の特殊鑄造法による製造プロセス(金型鑄造、遠心鑄造、連続鑄造など)	杉山友明(株)カイハラ)
専9		15:00～17:00	専門 10	銅合金の伝統工芸鑄物の製造技術(梵鐘、美術品などの鑄造法)	西川 実(元老子製作所)
専 10	9 月 11 日 (金) ★	9:50～11:50	専門 5	銅合金鑄物の熱処理	大矢泰正(株)大矢鑄造所)
専 11		12:40～14:40	専門 11	銅合金鑄物における微量元素	廣山剛果(大丸工業株)
専 12		14:50～16:50	専門 12	水栓用銅合金における溶出元素	安田吉伸(滋賀県北部産業技術共創センター)
19	9 月 25 日 (金) ★	9:45～11:45	管理 2	原価管理	長坂悦敬(甲南大学名誉教授)
20		12:35～14:35	管理 3	品質管理	中村隆廣 (元株)クボタ教育センター)
21		14:45～16:45	管理 4	安全・衛生管理、環境管理、省エネルギー	松下哲也(株)大田製作所)
22	10 月 10 日 (土) 川口鑄物組合	9:30～12:00	地区 2	鑄造欠陥の調査	五十嵐芳夫(元 日立金属株)
23		12:50～14:50	管理 5	設備管理	田村浩一 (田村労働衛生コンサルタント事務所)
24		15:00～17:00	地区 1	ダイカスト概論	西 直美(ものづくり大学名誉教授)
28	11 月 13 日 (金) 川口鑄物組合	10:00～12:00	共通 4	非鉄鑄物概論(軽合金・銅合金)	吉田 誠 (早稲田大学教授)
29		12:50～14:50	地区 3	溶解原材料の汚染対策	山浦秀樹(株)プロテリアル)
30		15:00～17:00	地区 4	人事管理(人材育成、目標管理、技術伝承を含む)	中村哲男(株)プロテリアル)
2027年1月29日(金)～1月30日(土)予定				工場見学(木村鑄造所他 1 社	
2027 年 3 月 1 日(月)～5 日(金)				インターンシップ	産総研(茨城県つくば市)

関西地区 銅合金コース 全体日程及び講義カリキュラム

★開催期間：2026年6月26日(金)～2027年3月5日(金)の17日間（講義11日、インターンシップ5日、工場見学1日）

講義受講日程：2026年6月26日(金)～11月27日(金)の11日間

開催場所：株式会社クボタ教育センターものづくり実習室および Web 講義、インターンシップは産業技術研究所

*黄色の網掛けは銅合金コースの講義です。鋳鉄コースの方は受講しません。その他の講義は共通です。★は Web 講義日。

コマNo.	日 程	時 間	区 分	科 目 ・ 内 容	講師候補
		11:00～12:00		開講式・オリエンテーション	
1	6月26日 (金)	12:50～14:50	共通1	鋳造概論	木口昭二（近畿大学名誉教授）
2		15:00～17:00	共通2	状態図の基礎	辻川正人（元大阪府立大学）
3					
4	7月3日 (金) ★	9:45～11:45	共通3	鉄系鋳物概論(鋳鉄・鋳鋼)	鈴木克美（ものづくり大学名誉教授）
5		12:35～14:35	共通5	生型の鋳型用材料と造型法	佐藤和則（日本鋳造工学会）
6		14:45～16:45	共通9	コンピュータシミュレーション概論	木下慎一（クオリカ株）
7	8月5日 (水) ★	9:45～11:45	共通7	模型製作	宇波岳雄(株田口型範)
8		12:35～14:35	共通6	生型以外の鋳型用材料と造型法	橋本邦弘(橋本技術士事務所豊橋)
9		14:45～16:45	共通8	鋳造品の品質保証と非破壊検査	桑原 勝(株クボタ教育センター)
10	9月2日 (水)	10:00～12:00	専門3	銅合金の溶解と溶湯管理	岡根利光（ものづくり大学教授）
11		12:50～14:50	専門1	銅合金鋳物における鋳造技術の変遷並びに材質と特性、用途	大瀧光弘(元古河電工株)
12		15:00～17:00	専門2	銅合金の状態図と凝固様式	大瀧光弘(元古河電工株)
13	9月3日 (木)	10:00～12:00	専門9	銅合金鋳物の品質管理と不良対策	丸 直樹(丸三工業株)
14		12:50～14:50	専門6	鉛フリー青銅鋳物における溶解、鋳造とその特性	丸山 徹(関西大学教授)
15		15:00～17:00	専門7	量産銅合金鋳物(バルブ、軸受など)を中心とした製造プロセス	青山 憲(株加藤製作所)
16	9月4日 (金)	10:00～12:00	専門4	銅合金の溶解と溶湯管理	無量小路俊宏(陸合金工業株)
17		12:50～14:50	専門8	銅合金鋳物の特殊鋳造法による製造プロセス	杉山友明(株カイバラ)
18		15:00～17:00	専門10	銅合金の伝統工芸鋳物の製造技術(梵鐘、美術品などの鋳造法)	西川 実(元老子製作所)
19	9月11日 (金) ★	9:50～11:50	専門5	銅合金鋳物の熱処理	大矢泰正(株)大矢鋳造所)
20		12:40～14:40	専門11	銅合金鋳物における微量元素	廣山剛果(大丸工業株)
21		14:50～16:50	専門12	水栓用銅合金における溶出元素	安田吉伸(滋賀県北部産業技術共創センター)
22	9月25日 (金) ★	9:45～11:45	管理2	原価管理	長坂悦敬（甲南大学名誉教授）
23		12:35～14:35	管理3	品質管理	中村隆廣（元株クボタ教育センター）
24		14:45～16:45	管理4	安全・衛生管理、環境管理、省エネルギー	松下哲也（株大田鋳造所）
25	10月30日 (金)	12:50～14:50	管理1	生産管理	長坂悦敬（甲南大学名誉教授）
26		15:00～17:00	共通4	非鉄鋳物概論(軽合金・銅合金)	浅野和典（近畿大学教授）
27					
28	11月13日 (金)	10:00～12:00	管理5	設備管理	山中利幸（龍誠計コンサルタンツ）
29		12:50～14:50	地区1	ケーススタディ(1) 鋳物砂の管理、鋳物砂による鋳造欠陥	黒川 豊（株ソチヨシ産業）
30		15:00～17:00	地区2	ケーススタディ(2) 溶湯性状に及ぼす微量不純物元素の影響	浅野和典（近畿大学教授）
31	11月27日 (金)	12:50～14:50	地区3	ケーススタディ(3) 損益分岐点管理	長濱武俊（株クボタ）
32		15:00～17:00	地区4	ケーススタディ(4) 人事管理と労務管理	中崎好文（元株クボタ教育センター）
33					
	12月4日(金)			工場見学予定日（見学先など別途）	
	12月11日(金)もしくは18日(金)			予備日	
	2027年3月1日(月)～5日(金)			インターンシップ	産総研(茨城県つくば市)

銅合金コース インターンシップ（合同） 予定

開催日程：2027 年 3 月 1 日（月）～5 日（金）
開催場所：国立研究開発法人 産業技術総合研究所 つくば東
〒305-8564 茨城県つくば市並木 1 丁目 2 番 1 号
下記は前回（2024 年度）の実施内容です。

日時	内容
【1 日目】	
午前	○挨拶・オリエンテーション ＜インターンシップの進め方と学習内容の説明＞ ○安全教育 ○安全教育 ＜実習中の作業に際して注意すべき事項の説明＞ ○班分け ○班分け
	【説明 A】 鋳物品質の管理方法について
	【実習-1】 鋳込みの準備状況の確認
午後	【実習-2】 鋳込み実習：鋳物品質に及ぼす脱酸の効果
	○まとめ－質疑応答
【2 日目】	
午前	鋳込み実習：鋳物品質に及ぼす脱酸の効果
午後	○まとめ－質疑応答 【説明 B】 組織観察の方法について 【実習-3】 試験片及び観察用試料の切り出し
【3 日目】	
午前	【説明 C】 非破壊検査及び熱分析について 【実習-4】 組織観察、熱分析及び染色浸透検査
午後	【実習-4】 組織観察、熱分析及び染色浸透検査
【4 日目】	
午前	【説明 D】 材料試験について 【実習-5】 機械的性質の測定
午後	【実習-5_続】 機械的性質の測定 【説明 E】 実験データのまとめ方及び口頭発表のし方 【実習-6】 実験データの整理と発表準備
【5 日目】	
午前	【実習-7】 発表準備
午後	【実習-7 続】 口頭発表 ○口頭発表の講評 ○インターンシップ終了の挨拶

銅合金コース 専門科目 講義内容

銅合金コース	科目	テキスト科目	キーワード	内容・到達目標	講師(予定)
	銅合金 1	銅合金鋳物における鋳造技術の変遷並びに材質と特性、用途	梵鐘、RoHS、青銅合金、銅鐸、甌、鉛フリー銅合金	人類が最初に使用した金属は銅合金である。その銅合金の鋳造技術の移り変わりと、最近の技術の動向並びに鉛フリー青銅鋳物の種類と用途、JIS H5120 銅合金鋳物の種類と用途について口述する。	大瀧光弘 (元古河電工(株))
	銅合金 2	銅合金の状態図と凝固様式	表皮生成型様式、粥状凝固様式、混合型凝固様式、二液相分離、共晶反応、偏晶反応、平衡状態図、固液共存温度範囲	Cu-Sn 系, Cu-Zn 系, Cu-P 系, Cu-Bi 系および Cu-Cu ₂ S 系二元合金等の状態図の凝固特性について口述する。さらに Cu-Sn-Zn 三元平衡状態図についても簡単に説明する。一般合金の凝固様式と、銅合金の固液共存温度範囲が狭い場合と広い場合に分けて鋳物の高温亀裂の発生機構についても説明する。	大瀧光弘 (元古河電工(株))
	銅合金 3	銅合金の鋳造方案	鋳造方案、凝固シミュレーション、溶湯の流動性	銅合金の鋳造方案の考え方と鋳造時の湯流れについて学ぶ。	岡根利光 (ものづくり 大学教授)
	銅合金 4	銅合金の溶解と溶湯管理	溶湯品質、溶湯の分類、脱酸、脱水素、酸化物の生成自由エネルギー	銅合金溶湯を溶湯処理の観点から分類し、各溶湯の特徴に基づく、脱酸、脱ガス及び溶解方法について、口述する。	無量小路俊宏 (睦合金工業 (株))
	銅合金 5	銅合金鋳物の熱処理	応力除去焼鈍、焼入れ焼き戻し、溶体化析出時効、テンパーアニール	銅合金鋳物の熱処理の目的と熱処理条件について、材質別に述べる。	大矢泰正 (株)大矢鋳造 所)
	銅合金 6	鉛フリー青銅鋳物における溶解、鋳造とその特性	鉛フリー青銅、脱酸、鋳造、溶解、フラックス、	(A)Si 系鉛フリー青銅鋳物、(B)Bi 系鉛フリー青銅鋳物、(C)Bi,Sb 系鉛フリー合金、(D)硫化物分散系鉛フリー青銅鋳物溶解方法と、これら合金の特徴を把握した鋳造方法について口述する。	丸山 徹 (関西大学教授)
	銅合金 7	量産銅合金鋳物(バルブ、軸受など)を中心とした製造プロセス	湯口比、鋳仕上げ、鋳込み時間、鋳造方案、砂管理	量産用鋳造ラインにおける砂処理工程、造型工程、溶解・鋳造工程、鋳仕上げ工程などのライン構成について説明する。量産用鋳造ラインの場合は自動的に行われるため、作業者が直接手を加えることは少ない。各工程の要点について詳述する。	青山 憲 (株)加藤製作 所)

銅合金コース	科目	テキスト科目	キーワード	内容・到達目標	講師（予定）
	銅合金 8	銅合金鋳物の特殊 鋳造法による製造 プロセス	連続鋳造法、遠 心鋳造法、金型 鋳造法、塗型剤、 回転速度、鋳造 温度	連続鋳造法、遠心鋳造法、金型鋳造法、 その他の鋳造法などのプロセスの特徴 および留意点などについて口述する。	杉山友明 (㈱カイバラ)
	銅合金 9	銅合金鋳物の品質 管理と不良対策	溶湯管理、寸法 精度、溶湯組成、 鋳型管理、鋳物 の材質管理、欠 陥対策	銅合金鋳物の品質を一定に確保するた めに、鋳型管理、溶湯の鋳込み温度、 溶湯の組成管理さらに凝固後の鋳物の 機械的性質や寸法精度に到るまでの品 質維持について述べる。	丸 直樹 (丸三工業㈱)
	銅合金 10	銅合金の伝統工芸 鋳物の製造技術 (梵鐘、美術品な どの鋳造法)	ワックス、梵鐘、 伝統工芸鋳物、 美術鋳物、ネッ トシェーブ	ロストワックス鋳造法はインベストメ ント鋳造法と同意語である。ここでは 梵鐘などの伝統工芸・美術鋳物を中心 に口述する。	西川 実 (元老子製作 所)
	銅合金 11	銅合金鋳物におけ る微量元素	鋳造性、機械的 性質、耐食性、 リサイクル、毒 性	微量元素には目的の特性を得るために 意図的に添加される有用なものと、リ サイクルや製造過程から混入する有害 なものがある。これらのふるまいに ついて合金種ごとに解説する。	廣山剛果 (大丸工業㈱)
	銅合金 12	水栓用銅合金にお ける溶出元素	水道資機材、浸 出試験方法、有 害金属元素、鉛 の溶出形態、厚 生省令、微量化 学分析	水道法の改正により水道資機材からの 鉛などの有害元素の溶出が規制されて いる。本講義では、特に銅合金からの 有害元素の溶出特性、その試験方法、 及び規制動向について解説する。	安田吉伸 (滋賀県東北部工 業技術センター)

※「共通科目」「管理科目」「地区別科目」については、受講する各地区の鋳鉄コース講義内容をご参照く
ださい。

関東地区 講義 会場

●機械振興会館

〒105-0011

東京都港区芝公園 3-5-8

TEL : 03-3432-2991 FAX : 03-3433-7498

交通手段

○地下鉄

・日比谷線神谷町駅1番出口より徒歩 8 分

・三田線御成門駅 A1 出口より徒歩 8 分

・大江戸線赤羽橋駅赤羽橋口出口より徒歩 10 分 ・浅草線・大江戸線大門駅 A6 出口より徒歩15分

○JR ・山手線・京浜東北線浜松町駅北口より徒歩 20 分



●川口鋳物工業協同組合

〒332-0011

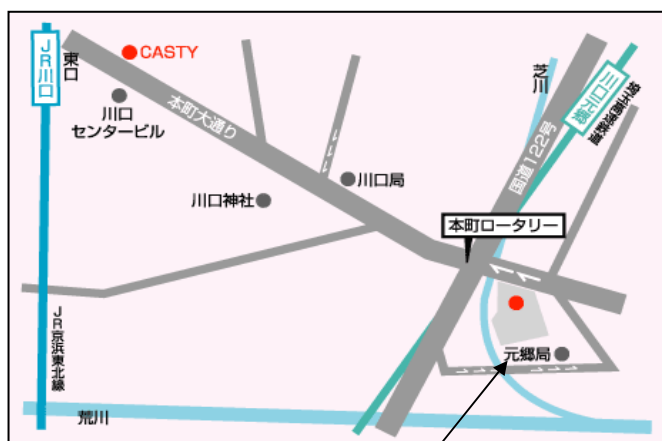
埼玉県川口市元郷 2-1-3

TEL : 048-224-6200 FAX : 048-224-1536

交通手段

JR 川口駅東口から 車 5 分 徒歩 20 分

埼玉高速鉄道川口元郷駅から 徒歩 5 分



【川口鋳物工業協同組合】
(前の道路は一方通行ですので、車の場合はご注意ください。)

関西地区 講義 会場

●(株)クボタ教育センター

クボタものづくり実習室

クボタ鋳物道場

〒661-8567

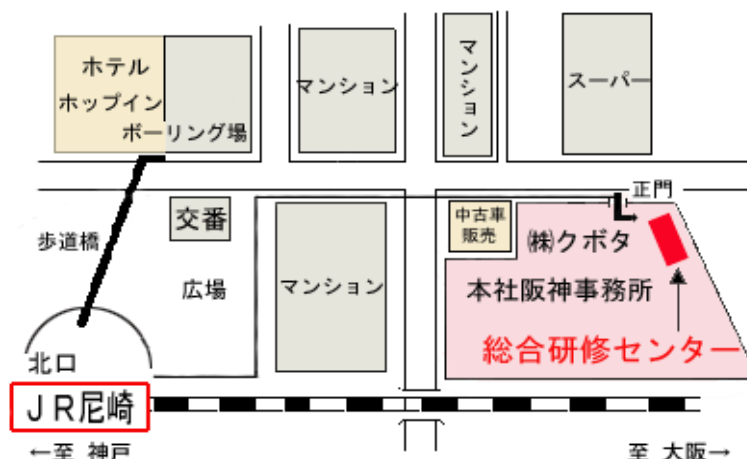
兵庫県尼崎市浜 1-1-1

TEL:06-6470-5960

FAX:06-6470-5966

交通手段

JR尼崎駅北口より徒歩約 10 分



銅合金コース インターンシップ 会場

●（国研）産業技術総合研究所 つくば東

〒305-8564 茨城県つくば市並木1丁目2番1号 つくば東

TEL: 029-861-7287

交通手段

●つくばエクスプレスご利用の場合

- ・「秋葉原駅」から快速で45分「つくば駅」下車 出入口A4へ
- ・つくばバスターミナル4番のりばから関東鉄道バス「荒川沖駅(西口)行(並木経由)」または「阿見中央公民館行」に乗り、「産総研つくば東・つくば研究支援センター入口」下車、徒歩3分

●JR 常磐線ご利用の場合

- ・「上野駅」から60分「荒川沖駅」下車 西口
- ・西口4番のりばから関東鉄道バス「筑波大学中央行」または「つくばセンター行(並木経由)」に乗り、「産総研つくば東・つくば研究支援センター入口」下車、徒歩3分
- ・タクシー利用の場合「荒川沖駅」から「産総研つくば東」まで約15分

